

ICT 教材・機器 活用事例

学部	中学部	学年等	3年	教科	作業(職業分野)
授業名(単元名)	インタビューをしよう				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①1人1台 iPad

インタビュー時の録音や写真での記録、Keynote の制作

②大型テレビ

1人1台 iPad で使用するアプリの基本的な使い方や、制作するスライドの見本の提示

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○インタビューを実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に聞き取りの練習と、アプリの使い方の練習をする。 ・インタビュー時の役割や会場のセッティングは班員で話し合っ て決めるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①1人1台 iPad ②大型テレビ
○ 内容を話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き漏らしがないかに注意して、録音を聞いたり、メモを見返したりする ように言葉かけをする。 ・なるべく相手が言った言葉をそのまま文章にするように言葉かけをする。 ・話し合いが難しいと感じたときには教員を呼ぶように促す。 	
○ 班で Keynote を制作する	<ul style="list-style-type: none"> ・枠組みや共通の文字入力が済んでいるスライドのテンプレートを用意しておき、共有する。 ・作業が一人に偏らないように役割分担するように言葉かけをする。 ・メモと照らし合わせるなどして、入力内容に間違いがないか確認しながら制作を進めるように促す。 	

3. 活用の成果

仕事について教員にインタビューすることを通してスライドを作ることで、職業科として進路学習に関連した内容を踏まえるとともに、インタビューの準備から実施、その後の制作まで様々な方法で1人1台 iPad が活用できると考えた。

協働学習が積極的に行えるよう、9人を3つの班にわけ、それぞれで役割分担をして班で1つのスライドを制作することとした。1つ

の班に1人以上はKeynoteの経験者を入れ、ICT機器が苦手な生徒と協力できるような形にした。

他者にインタビューをするという経験があまりない生徒たちだったこともあり、緊張や不安も感じつつ「面白そう。」という前向きな気持ちで活動に取り組んでいた。事前に練習をしていたため、役割分担時には、自分の得意な役割を理解し、「僕がインタビュアーやります。」「私は記録係がしたい。」と積極的に立候補していた。実際のインタビュー場面では、録音の1人1台iPadをどこに置くか、どこから写真を撮るかなどを班のメンバーで話し合い、自主的に活動している姿が見られた。

インタビュー後は、聞き取った内容をまとめることが難しく、何度も録音を聞き返して作業を進めていた。Keynote制作の段階になると、使う写真はどれがいいか、スライドの○枚目は誰が書くか等について話し合ったり、全員でメモを見返して間違いがないかをチェックしたりと、協力して制作に取り組むことができていた。文字入力が苦手な生徒に、得意な生徒がサポートをする場面も見られた。